

■ 掲示板

■ 独立行政法人理化学研究所 播磨研究所 放射光科学総合研究センター 利用システム開発研究部門 基盤研究部 研究員または技師 募集

研究室の概要：基盤研究部は、SPring-8 利用技術の研究開発・高度化・汎用化をととして研究基盤の運営と普及を担当しています。本研究部は、生命系放射光利用システム開発ユニット、物質系放射光利用システム開発ユニット、軟 X 線分光利用システム開発ユニット、放射光イメージング利用システム開発ユニットの 4 ユニット体制で全 8 本の理研ビームラインの運営・高度化に責任を持ち、幅広い科学分野での放射光利用研究に係わる諸技術の研究開発とレベルアップを進めています。

募集職種、人数及び職務内容：研究員または技師 1 名（平成24 年 4 月 1 日、またはそれ以降早期）

SPring-8 の高輝度・短パルス放射光の特徴を活かし、不均一な物質の過渡現象を微視的に直接観察するための X 線分光、X 線回折・散乱、X 線イメージングなど、先端計測のための実験手法および実験装置の開発研究を行い、理研ビームラインの高度化とその維持・利用支援業務を担当する。

詳細：http://www.riken.jp/r-world/info/recruit/k110916_e_rsc.html を参照ください。

待遇：定年制職員（60歳定年）、年俸制（規程に基づき諸手当支給）その他、当研究所規程による。

提出書類：(1)履歴書（写真付）、(2)研究業績一覧、(3)現職の所属長を含む推薦状 2 通（内、最低 1 通は外国人からのものとする。宛名は、「独立行政法人理化学研究所 理事長」）(4)これまでに獲得した外部資金リスト(5)これまでの研究・技術開発内容と今後の研究・技術開発に対する抱負（3 ページ以内）、上記の書類を簡易書留または書留で送付し、封筒に「基盤研究部 研究員または技師 応募書類在中」と朱書きしてください。

締切日：平成23年 9 月16日（金） 17時 必着

問合せ・書類送付先：

〒351-0198 埼玉県和光市広沢 2-1

独立行政法人理化学研究所 基礎基盤研究推進部 研究業務課

メール：rps-saiyo@riken.jp

■ 東京工業大学大学院理工学研究科物質科学専攻物質構

造講座助教公募

募集人員：助教 1 名

専門分野：無機材料の構造と物性。結晶構造解析。構造科学的手法を用いた新規物質の開発と新規特性・機能の開拓と解明

職務内容：標記分野の研究に意欲的に取り組むとともに、八島正知教授と協力して、大学院及び学部において学生の研究指導を行っていただける方。学部・大学院の化学実験および演習などを分担頂く。

応募資格：博士の学位を有するか、取得見込みの方。

着任時期：決定後できるだけ早い時期。任期なし。

応募締切日：平成23年 9 月30日（金）必着。

提出書類：

(1)履歴書

(2)業績リスト（査読付学术论文、査読なし学术论文、学位論文、総説、学会発表等に分類、招待講演は明示のこと、受賞歴、研究費・助成金・奨学金の取得状況を含む）

(3)主要論文の別刷（コピー可、3 編以内）

(4)現在までの研究概要（A4 で 3 枚以内、実験・解析スキル等のアピール点も含めること）

(5)着任後の研究と教育に対する抱負（A4、2 枚以内）

(6)照会可能な方 2 名の氏名と連絡先

書類送付先：

〒152-8551 東京都目黒区大岡山 2-12-1 H-74

東京工業大学大学院理工学研究科物質科学専攻事務室

問合せ先：

八島正知

電話：045-924-5630または03-5734-2225

E-mail：yashima@cms.titech.ac.jp

専攻ホームページ：http://www.cms.titech.ac.jp/

備考：応募書類は「物質構造講座助教応募書類在中」と朱書きし、簡易書留で送付のこと。応募書類は返却しません。

東京工業大学では、多彩な人材を確保し、大学力・組織力を高めるため、全ての研究分野において、外国人や女性の参画する均等な機会を確保します。

公募締切後の選考段階で、面接または講演をお願いすることがあります。

■ 会告

■ 日本放射光学会第90回評議員会議事録

日時：2011年 5 月14日（土） 14：00～16：00

場所：理化学研究所（新）東京連絡事務所 会議室

出席者：朝倉清高、足立純一、雨宮慶幸、太田俊明、大橋治彦、尾嶋正治（会長）、加藤政博、木村真一（会計幹事）、

小杉信博、小林克己、佐々木 聡、澤 博、繁政英治、下村 理、大門 寛、高田昌樹、竹田美和、生天目博文、平井康晴、藤森 淳、間瀬一彦、水木純一郎（渉外幹事）、村上洋一、八木直人 各評議員

足立伸一（編集幹事），原田慈久（庶務幹事），木村 滋（行事幹事）
 欠席者：石川哲也，辛 埴，田中 均，宮原恒昱，柳下 明，
 若槻壮市

事務局：佐藤亜己奈（WORDS）

〈審議事項〉

1. 次期会長・評議員選挙
 原田庶務幹事より次期評議員選挙のスケジュール，依頼文について説明があり，これを承認した。
2. 第16回学会奨励賞公募
 原田庶務幹事より第16回学会奨励賞の応募要綱について説明があり，これを承認した。
3. 放射光基礎講習会
 木村行事幹事より第2回放射光基礎講習会の企画案について説明があり，これを承認した。開催日は2011年9月6日-7日，場所は関西学院大学上ヶ原キャンパスを予定。
4. 学会会計の健全化について
 木村会計幹事より現在の学会会計における収支バランスの問題，特に「年会の収益金がないと赤字」，「賛助会員収入+会誌広告収入の減少」，「学会誌出版費の会費収入に対する割合が高い」等についての説明があり，この対策について議論がなされた。議論の結果，特別賛助会員の新設およびそれに伴う定款の改訂について下記の通り承認し，次回総会に諮ることとなった。
 学会誌のモノクロ+オンラインカラー化については「報告事項 3.編集委員会報告」で議論した。

(改訂前)	
定款 第2章，第5条	会員は，正会員，賛助会員，購読会員，シニア会員および名誉会員から成る。
(改訂後)	
定款 第2章，第5条	会員は，正会員， <u>特別賛助会員</u> ，賛助会員，購読会員，シニア会員および名誉会員から成る。

(改訂前)	
定款 第2章，第6条	正会員は放射光学の分野に関して学識を有し，評議員会によってその入会が適当と認められた者とする。 賛助会員は本会の目的に賛同し，その事業を援助する者または団体とする。 購読会員は，本会の刊行する出版物の購読を希望する者または団体とする。 シニア会員は，長年放射光学会正会員として放射光科学に貢献してきた定年退職者で，引き続き放射光の発展に貢献する意思があり，評議員会によって推薦され，総会によって決定された者とする。 名誉会員は，放射光学の分野において顕著な功績を有する者で，評議員会によって推薦され，総会によって決定された者とする。

(改訂後)	
定款 第2章，第6条	正会員は放射光学の分野に関して学識を有し，評議員会によってその入会が適当と認められた者とする。 <u>特別賛助会員は，本会の目的に賛同し，日本放射光学会年会・放射光科学合同シンポジウムを共催する団体とする。</u> 賛助会員は，本会の目的に賛同し，その事業を援助する者または団体とする。 購読会員は，本会の刊行する出版物の購読を希望する者または団体とする。 シニア会員は，長年放射光学会正会員として放射光科学に貢献してきた定年退職者で，引き続き放射光の発展に貢献する意思があり，評議員会によって推薦され，総会によって決定された者とする。 名誉会員は，放射光学の分野において顕著な功績を有する者で，評議員会によって推薦され，総会によって決定された者とする。

(改訂前)	
定款 第2章，第7条	正会員，または賛助会員として入会しようとする者または団体は，細則に定められた手続きにしたがって申込み，その入会は評議員会によって決定される。
(改訂後)	
定款 第2章，第7条	正会員， <u>特別賛助会員</u> ，または賛助会員として入会しようとする者または団体は，細則に定められた手続きにしたがって申込み，その入会は評議員会によって決定される。

(改訂前)	
定款 第2章, 第9条	正会員は、会費年額8,000円を前納するものとする。学生は年額2,000円を前納するものとする。 ただし、新たに入会しようとする者の当該年度の会費年額を半額とする。 賛助会員は、1口50,000円の会費を1口以上毎年前納するものとする。 購読会員は、会費年額15,000円を前納するものとする。 シニア会員および名誉会員は、会費を納めることを必要としない。
(改訂後)	
定款 第2章, 第9条	正会員は、会費年額8,000円を前納するものとする。学生は年額2,000円を前納するものとする。 ただし、新たに入会しようとする者の当該年度の会費年額を半額とする。 <u>特別賛助会員</u> 、賛助会員は、1口50,000円の会費を1口以上毎年前納するものとする。 購読会員は、会費年額15,000円を前納するものとする。 シニア会員および名誉会員は、会費を納めることを必要としない。

5. 協賛・後援について

原田庶務幹事より本学会に対する協賛・後援依頼について報告があり、協賛7件、後援3件を承認した。

6. 会員異動（入会）

原田庶務幹事より、第89回評議員会以降の入会申請者に関して、正会員9名（うち学生会員2名）、賛助会員1社1口の報告があり、これを承認した。

7. シニア会員推薦

シニア会員1名の推薦があった。これを承認し、総会に諮ることとなった。

〈報告事項〉

1. JSR11報告, JSR12の準備状況

木村行事幹事より第24回年会・合同シンポ（JSR11）および市民公開講座の参加者数、収支などについて報告があった。また2012年1月6日（金）-9日（月）に鳥栖市民文化会館・中央公民館で開催予定の第25回年会・合同シンポ（JSR12）準備状況について報告があった。

2. 第3回若手研究会公募について

木村行事幹事より、第3回若手研究会の公募に対して1件の申請があり、2011年6月4日にヒアリングを行う予定との報告があった。

3. 編集委員会報告

足立編集幹事より会誌の進捗状況、ブルーバック出版の進捗状況、「放射光ビームライン光学技術入門」が完売し学会HPにて増刷アンケートを実施中である旨の報告があった。「放射光ビームライン光学技術入門」を電子版にしてはどうかとの意見があった。

また編集委員会で会誌出版費の削減を検討した結果について

の報告があった。これについては様々な意見があるため、まずは会員に対して会誌に関するアンケートを行うこととなった。

4. 合同特別委員会報告

水木渉外幹事より2011年3月5日に東大工学部5号館52号講義室で開催された「放射光光源計画WG&サイエンス将来計画特別委員会合同特別委員会」について報告があった。合同特別委員会の報告については学会誌Vol. 24, No. 5（9月末発行）に掲載予定。

5. 学術会議「学術の大型施設計画・大規模研究計画（マスタープラン）物理系シンポジウム報告

尾嶋会長より、2011年1月31日に学術会議「学術の大型施設計画・大規模研究計画（マスタープラン）物理系シンポジウム」が開催され、放射光科学の将来計画を説明したとの報告があった。

6. 量子ビーム施設の連携協力に関する連絡会議

尾嶋会長より、2011年3月28日に開催された文部科学省「量子ビーム施設の連携協力に関する連絡会議」にて、放射光学会の活動方針、放射光科学・光源計画ビジョンロードマップの策定等について説明したとの報告があった。

7. PF支援に対するお願い

PF懇談会会長より放射光学会に対して、東日本震災によって甚大な被害を受けたPFの復興、復旧への協力要請があった。尾嶋会長より、これに対応するため放射光学会から文部科学省等の関係各所にPF支援の要望書を提出したことが報告された。

また下村評議員よりPFの復旧状況と今後の予定について説明があった。

8. 会員異動（退会）

原田庶務幹事より第89回評議員会以降の退会申請者に関して正会員34名（うち学生会員19名）との報告があった。2011年5月14日現在の総会員数は1,342名（うち学生会員120名）、シニア会員4名、賛助会員47社49口。

9. 放射光web名簿閲覧について

以前、冊子として発行していた会員名簿を2006年よりオンライン上で閲覧する形となってから、正会員のみ名簿閲覧可能となっていたが、賛助会員より名簿を閲覧したいとの要望があった。細則に「会員の情報は会員名簿に記載し会員はこれを閲覧できる（以下略）」とあり「会員」には、正会員、賛助会員、購読会員が含まれるため、賛助会員、購読会員に対し、名簿閲覧のためのパスワードを新たに発行する手続きがなされたことが報告された。

10. 中部シンクロトン経過報告

竹田評議員より中部シンクロトン光施設構想の経緯と建設の現状について報告があった。

11. 34学会（44万会員）会長声明

尾嶋会長より4月27日に発表した34学会（44万会員）会長声明について説明があった。

■会員異動

第90回評議員会(0211年5月14日)で承認

《正会員入会》

内本 喜晴 京都大学大学院人間・環境学研究科
石岡 寿雄 九州大学大学院総合理工学研究院物質科学部門
大川万里生 東京理科大学理学部第一部応用物理学科齋藤研究室
西堀麻衣子 独立行政法人 産業技術総合研究所
関澤 央輝 電気通信大学
石川 理沙 分子科学研究所 極端紫外光研究施設
田中 俊憲 独立行政法人沖縄科学技術研究基盤整備機構

以上7名

篠原 稔宏 東京大学大学院工学系研究科応用科学専攻尾嶋研究室

以上2名

《賛助会員入会》

(株)サイエンスラボラトリーズ(1口)

以上1社1口

《退会会員》

正会員15名、学生会員19名

《会員数》

会員1342名(内学生120名)

シニア会員4名 賛助会員47社(49口)

《学生会員入会》

北山 賢 大阪大学基礎工学部 物性 関山研

一口メモ

コバイケイソウ

ユリ科シュロソウ属の多年草の植物で、本州中部・北海道の日本海側の山地に分布し、主として雪田周辺の肥沃な草原に群生する、代表的な高山植物の一つである。名前の由来は花が梅に似ており、葉がケイランに似ているためと言われている。高さは1mほどになり、初夏に穂先に白い花をつける。花径の先端部は両性花で、横に伸びる花は雄花である。長楕円形の葉には葉脈がはっきりし、交生する。

私が本誌の1992年3月号(5巻1号)に“一口メモ(すずしろ)”を書き始めて以来、今回の“コバイケイソウ”で100回目となりました。このコラム欄がどうしてスタートしたかについては2003年3月号(16巻2号)での50回目の“一口メモ(シバザクラ)”の中で書きましたが、もう一度簡単に述べてみます。1992年当時、私は本誌の編集委員長を務めていまして、どうしても気になることがありました。読者の皆様も気づいていると思いますが、記事の最後にはどうしても白紙の部分が残ります。そこで、事務局の西野さんと相談し、白紙の部分にコーヒープレイク的なコラム欄を作ることにより、私が担当することになりました。当初は記事とカット集から選んだ挿絵が入るようになりましたが、Mana. S(貞安麻奈)さんの署名入りの絵が挿入され、体裁が整いました。時には、Miwakoさん、Wakieさんも絵を助けて下さることもありました。題の選択にあたっては手持ちの草木・花の本数冊と広辞苑を参考にしました。記事の前半では植物の説明をかたい感じの文章で、後半では柔らかい表現で、時の話題と私の感想を書きました。記事の中には20世紀最後の年にノーベル化学賞を受賞されました白川先生からいただきましたアマリリスの花が咲いたこと、元旦には上州路を走る全国実業団駅伝、2、3日には東京箱根間往復大学駅伝をテレビ観戦していること、つくばエクスプレスが開通したこと等の楽しい話題があります。しかし、一方ではJCOの原子力燃料事故、インドネシア沖での大地震と大津波による大被害、つい先日の東日本大地震と原発事故等の悲しい話題も取り上げました。その他、大学キャンパスで過ごす大学生の生活についても時々触れました。

約20年の歳月が流れ、今回で“一口メモ”の記事の回数が目標の100回目に達しましたので、これで最終回といたします。長い間、私の記事をお読み下さった方々に感謝します。

(No. 100, K. Ohshima)



■行事予定

開催月日	名 称	開 催 地	主催又は問い合わせ先	掲載巻・号
2011年 7/10-13	第11回 SPring-8 夏の学校 —最先端の放射光科学を学ぶ—	SPring-8	（財）高輝度光科学研究センター，（独）理化学研究所，播磨研究所，日本原子力研究開発機構，量子ビーム応用研究部門，兵庫県立大学大学院物質理学研究科・生命理学研究科，兵庫県立大学高度産業科学技術研究所，関西学院大学大学院理工学研究科，東京大学放射光連携研究機構，岡山大学大学院自然科学研究科 E-mail: 2011summerschool@spring8.or.jp	24・2
8/29	SPring-8 グリーンエネルギー研究会（第5回）～二次電池の最前線～	研究社英語センタービル 地下2階大会場	SPring-8 利用推進協議会研究開発委員会 E-mail: suisin@spring8.or.jp	24・4
9/7-9	日本セラミックス協会秋季シンポジウム特定セッション 「新物質材料合成と構造評価設計技術」	北海道大学札幌キャンパス 高等教育推進機構	日本セラミックス協会 E-mail: ida.takashi@nitech.ac.jp	24・2
9/9-11	第14回 XAFS 討論会	岡崎コンファレンスセンター	岡崎コンファレンスセンター E-mail: yokoyama@ims.ac.jp	24・3
9/14-15	第52回表面科学基礎講座	（株）島津製作所関西支社 マルチホール	社団法人 日本表面科学会 E-mail: shomu@sss.jp	24・4
9/27-28	社会人のための表面科学ベーシック講座	東京理科大学 森戸記念館	社団法人 日本表面科学会 E-mail: shomu@sss.jp	24・4
11/3-5	第41回結晶成長国内会議（NCCG-41）	つくば国際会議場	日本結晶成長学会 E-mail: jacg@words-smile.com	24・4
11/4-5	第11回 X 線結像光学シンポジウム	東北大学 片平キャンパス内 片平さくらホール	X 線結像光学研究会	24・4
11/9-11	第52回高压討論会	沖縄キリスト教大学院	沖縄キリスト教大学院 E-mail: nakama@sci.u-ryukyuu.ac.jp	24.3

本欄では、研究会、シンポジウム、国際会議等のおしらせを募集しております。掲載ご希望の方は事務局までご連絡下さい。一記事の長さは1/2ページ以下を目安とし、様式は事務局で変更させて頂く場合がございます。

■SPring-8 グリーンエネルギー研究会（第5回） ～二次電池の最前線～

主 催：SPring-8 利用推進協議会研究開発委員会
共 催：（財）高輝度光科学研究センター（JASRI）
協 賛：日本放射光学会，他
日 時：2011年8月29日（月） 13：00-17：00（研究会）
17：10-18：00（技術交流会）
会 場：研究社英語センタービル 地下2階大会場（研究会），
地下1階中会議室（技術交流会）
（〒162-0825 東京都新宿区神楽坂1-2）
アクセス：
JR 中央線/飯田橋駅西口または地下鉄/飯田橋駅 B3 出口より

徒歩3分
http://www.kenkyusha.co.jp/modules/11_meetingroom/
定 員：100名（聴講無料，定員になり次第締め切ります。）
申 込：申込ページ
https://support.spring8.or.jp/event/greenenergy_110829_form.html
E-mail でお申込みされる場合は，以下の必要事項をご記入のうえ，申込み先 E-mail アドレスへお送り下さい。
件名：グリーンエネルギー研究会（第5回）を明記してください。
(1)参加者氏名，(2)フリガナ，(3)所属機関名，(4)所属部署，職位，
(5)住所，(6)連絡先（電話，E-mail），(7)技術交流会に（参加する or 参加しない）

申込締切：2011年8月22日(月)

申込み先：

E-mail : greenenergy@spring8.or.jp FAX : 0791-58-0988

問合せ先：

JASRI 産業利用推進室 杉浦正治 (sugiuram@spring8.or.jp)

事務局 (suisin@spring8.or.jp)

〒679-5198 兵庫県佐用郡佐用町光都1丁目1-1

TEL 0791-58-0924, FAX 0791-58-0830

SPring-8 利用推進協議会 HP

URL <http://www.spring8.or.jp/ext/ja/iuss/> (活動状況など)

■第52回表面科学基礎講座 表面・界面の基礎と応用

表面・界面分析技術はめざましく進歩し、学術的研究はもとより、産業界における研究開発や品質評価などに盛んに利用されています。本講座は、表面・界面分析の初心者、若手研究者、技術者を対象として、表面・界面分析の基礎と応用を入門的かつ具体例を豊富に挙げて解説することを目的として、年2回(関東地区および関西地区)実施しています。また、内容の理解をたすけるために、各講演で演習を行う予定にしております。各講演の概要はホームページをご覧ください。表面科学基礎講座へ多数の方々の参加をお待ちしております。

主催：社団法人 日本表面科学会

協賛：日本放射光学会，他

日時：2011年9月14日(水)～9月15日(木)

会場：梶島津製作所関西支社マルチホール

参加定員：100名(定員に達し次第メ切ります)

受講料：表面科学会正会員 20,000円

表面科学維持会員 20,000円

表面科学賛助会員 25,000円

協賛学協会会員 30,000円

表面科学会学生会員 3,000円

学生(非会員) 5,000円

その他 35,000円

(テキスト代，消費税を含む)

申込締切：2011年9月7日(水)

申込方法：

URL (<http://www.sssj.org/>) でお申し込み下さい。

(尚，電子メール，FAX またはハガキでのお申し込みも可能です。その場合，以下の情報をご記入の上，事務局宛にお申し込み下さい。)

(1) 「第52回表面科学基礎講座申込」

(2) 氏名(ふりがなをつけて下さい。)

(3) 勤務先 所属

(4) 連絡先 所在地(〒付記) TEL/FAX/E-mail

(5) 申込資格(上記の参加費表の区分，協賛学協会会員の場合は学会名を記入)

※お申込みに際しご記載頂きましたメールアドレスは，日本表面科学会が主催する本件以外のセミナー・講演会などのご案内にも使用させて頂く場合がございます。ご案内が不要な方はお手数ですがその旨お申し出下さい。

払込方法：

(1) 申込を受け付け次第，振込用紙をお送りします。

受講者一名につき必ず一枚の振込用紙をご使用下さい。

(2) 振込用紙の半券をもって領収書に替えさせていただきます。

(3) 勝手ながら受講料の払い戻しは行いません。

ご都合の悪くなった場合には，代理の方の受講をお願いします。

お知らせ：

この基礎講座を受講された方は，9月16日(金)に同会場にて引き続き実施される表面科学技術者資格の第3回認定試験が無料で受験できます。試験の概要や受験申込みの詳細は <http://www.sssj.org/> をご覧ください。

11月18日(金)に神戸大学百年記念館で実用表面分析セミナー2011が開催されます。実用表面分析セミナーは無料で参加できますので，奮ってご参加下さい。

■社会人のための表面科学ベーシック講座

主催：社団法人 日本表面科学会

協賛：日本放射光学会，他

日時：2011年9月27日(火)～9月28日(水)

会場：東京理科大学 森戸記念館

参加定員：100名(定員に達し次第メ切ります)

受講料：表面科学会正会員 16,000円

表面科学維持会員 16,000円

表面科学賛助会員 21,000円

協賛学協会会員 26,000円

表面科学会学生会員 3,000円

学生(非会員) 5,000円

その他 30,000円

(配布資料代，消費税を含む)

申込締切：2011年9月22日(木)

申込方法：

URL (<http://www.sssj.org/>) でお申し込み下さい。

(尚，電子メール，FAX またはハガキでのお申し込みも可能です。その場合，以下の情報をご記入の上，事務局宛にお申し込み下さい。)

(1) 「社会人のための表面科学ベーシック講座」

(2) 氏名(ふりがなをつけて下さい。)

(3) 勤務先 所属

(4) 勤務先所在地(〒付記) TEL/FAX/E-mail

(5) 自宅住所(〒付記) TEL/FAX/E-mail

(6) 連絡先(自宅または勤務先のいずれかを指定)

(7) 申込資格(上記の受講料表の区分，所属学会等を記入)

※お申込みに際しご記載頂きましたメールアドレスは，日本表面科学会が主催する本件以外のセミナー・講演会などのご案内にも使用させて頂く場合がございます。ご案内が不要な方はお手数ですがその旨お申し出下さい。

払込方法：

(1) 申込を受け付け次第，振込用紙をお送りします。

受講者一名につき必ず一枚の振込用紙をご使用下さい。

(2) 振込用紙の半券をもって領収書に替えさせていただきます。

(3) 勝手ながら受講料の払い戻しは行いません。

ご都合の悪くなった場合には、代理の方の受講をお願いします。

■第11回 X線結像光学シンポジウム

X線結像光学は平成に入ってから急速に発展してきた新しい学問分野です。研究分野は広く理学と工学にまたがり、その利用領域の多様性から科学と技術の要に位置し、宇宙科学、生命科学、物質・材料科学、放射光科学、プラズマ・核融合科学、医療技術、精密工学の広範な分野における研究進展に大きな役割を果たしています。

平成2年1月に本研究会主催の第1回シンポジウムが東京で開催され、その後、第5回から全国の主要地域で回を重ねてきました。開始から約20年が経過し、回も11回を数えました。この間、本研究会を中心とした研究活動は、多くの支援を得て順調に発展してきました。これまでの活動は、大学・研究機関が中心でしたが、技術的な成熟度から見て、今後は産業利用への期待も膨らみます。

本シンポジウムでは、エネルギー（波長）領域約100 eV～200 keV（10～0.005 nm）における光学・計測技術、またそれらによる科学研究およびX線結像光学の基盤技術に関する最新の研究成果を発表し、将来の展望を議論したいと思います。

主催：X線結像光学研究会

日時：2011年11月4日（金）～5日（土）

場所：東北大学 片平キャンパス内 片平さくらホール

共催：東北大学 多元物質科学研究所 他

協賛：日本放射光学会、応用物理学会東北支部

参加申込：<http://res.tagen.tohoku.ac.jp/~sxoptics/>を参照のこと

発表申込締切：10月11日（火）

参加費：一般7000円（懇親会費込み）

学生3500円（懇親会費込み）

問合せ先：

〒980-8577 仙台市青葉区片平2丁目1-1

東北大学多元物質科学研究所内

X線結像光学シンポジウム世話人 江島丈雄

TEL：022-217-5377 FAX：022-217-5379

e-mail：ejima@tagen.tohoku.ac.jp

■第41回結晶成長国内会議（NCCG-41）

主催：日本結晶成長学会

協賛：日本放射光学会、他

日時：2011年11月3日（木・祝）～5日（土）

場所：つくば国際会議場（茨城県つくば市竹園2-20-3）

参加費：正会員3,000円、学生会員1,500円、非会員8,000円、
非会員学生4,000円

※事前登録は行っておりません。当日、会場にて受付を行います。

予稿集：4,000円

※当日入会の方は会員扱いとし、予稿集は無料配布となります。

講演申し込み方法：

メール受付となります。（受付開始6月下旬を予定）

講演申し込み締切日：2011年7月29日（金）

予稿原稿締切日：2011年8月26日（金）

その他：企業展示、大学・研究機関展示も行う予定です。

詳細HP：

http://wwwsoc.nii.ac.jp/jacg/japanese/frame_main/18/nccg-41/index2011.html

講演申し込み、連絡先：

日本結晶成長学会事務局

〒170-0013 東京都豊島区東池袋2-62-8-507

TEL：03-5950-4741 FAX：03-5950-1292

E-mail：jacg@words-smile.com

● 会誌オンライン利用方法に関するご案内 ●

編集委員長 足立 伸一

渉外幹事 水木純一郎

オンライン会誌にアクセスするには、放射光学会のトップページにある会員専用ボタンをクリックし、会員専用ページにアクセスする必要があります。

会員専用ページにアクセスするためのユーザー ID とパスワードは

User ID：jsr244

Password：aE4tabiT

です。このユーザー ID とパスワードは、次号が発行された後に失効します。

会員専用ページにある、学会誌「放射光」のオンライン閲覧をクリックして頂ければ、オンライン会誌を従来通りご覧頂くことができます。

会員以外の方へのパスワード漏洩は禁止いたします。また、記事の著作権は日本放射光学会にありますので、転載等のご希望に関しては、必ず事務局までご連絡下さい。良識あるご利用で、会員の皆様のお役に立てれば幸いです。

ホームページに関して問題等ございましたら、水木（mastery@kwansei.ac.jp）までご連絡下さい。オンライン会誌に関するご連絡は、足立（shinichi.adachi@kek.jp）までお願いします。